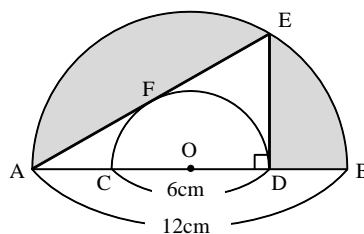


塾技 67 円と接線

問題 (難易度 A~B)

右の図のように、点 O を中心とし、 AB を直径とする半円（大きい半円）と、 CD を直径とする半円（小さい半円）があり、 $AB = 12\text{cm}$ 、 $CD = 6\text{cm}$ である。また、 E は大きい半円の周上の点で、弦 AE は点 F で小さい半円に接し、 $AB \perp ED$ である。このとき、次の (1)、(2) の問いに答えなさい。



- (1) 線分 AF の長さを求めなさい。
- (2) 図の灰色部分の面積を求めなさい。 (佐賀県)

解

- (1) 右の図のように、 O と E および O と F をそれぞれ結ぶ。

OD は小さい半円の半径と、 OE は大きい半円の半径とそれぞれ等しいので、 $OD = 3$ 、 $OE = 6$ となる。

$OD : OE = 1 : 2$ より、 $\triangle ODE$ は 30° 、 60° 、 90° の直角三角形とわかる。よって、 $ED = \sqrt{3}OD = 3\sqrt{3}$

ここで、「塾技 67」の塾技解説より、 $\triangle EOD \equiv \triangle EOF$ となり、

$EF = ED = 3\sqrt{3}$ 、 $\angle OED = \angle OEF = 30^\circ$ となる。

一方、 $\triangle OAE$ は、 $OA = OE$ の二等辺三角形より、 $\angle OAE = \angle OEF = 30^\circ$

よって、 $\triangle ODE \sim \triangle EDA$ となり、 $\triangle EDA$ も 30° 、 60° 、 90° の直角三角形となる。

$$ED = EF = 3\sqrt{3}, \quad EA = 2ED = 6\sqrt{3}, \quad AF = EA - EF = 3\sqrt{3}(\text{cm}) \quad \langle \text{答} \rangle$$

- (2) (1) より、 $ED = 3\sqrt{3}$ 、 $AD = \sqrt{3}ED = 9$

(求める面積) = (大きい半円) - $\triangle ADE$

$$\begin{aligned} &= 6 \times 6 \times \pi \times \frac{1}{2} - 9 \times 3\sqrt{3} \times \frac{1}{2} \\ &= (18\pi - \frac{27\sqrt{3}}{2}) \text{ cm}^2 \quad \langle \text{答} \rangle \end{aligned}$$

